

# QLAシステム

## 『オイルケアは安心の基本』

車両・機械のオイル管理はQLAにおまかせください!

シェル ルブリカンツ ジャパン



## 《QLAシステムからのご提案》

# 「トラブルを未然に防ぐ」＝「予知保全」

## オイルは機器・機械の血液です。 定期健康診断で安心・安全稼動を！

血液検査で、人間の健康診断ができるように、オイル分析で機器・機械の保守管理をしましょう。

定期的な使用油分析は、機器・機械の適切なオイル管理、適切な交換時期の設定にお役に立ちます。

トラブルを未然に防ぐことは、メンテナンスや修理の経費削減になるばかりではなく、稼動停止時間の短縮など、生産性・効率性の向上にもつながります。

安定的な運転のために、QLAシステムをご活用ください。

### オイルの診断 心強いサービス

## QLA

### 安心

#### ■分析結果は、サンプル到着後48時間で報告

それぞれの油種ごとに、必要な分析対象項目を測定。  
QLAはスピーディな試験・分析・報告システムです。



#### ■データ管理で結果履歴が一目瞭然！

時系列で過去のデータがわかります。  
また、専用ソフトでグラフ化も。(グラフ化ソフトは別売り)



### 簡単

#### ■少量サンプル(30ml)でOK!

分析に必要な採取サンプル量は、わずか30ml。  
(テラスシリーズは60ml必要)



#### ■専用パッケージで郵送OK!

使用油サンプルを専用容器に採取して、郵送するだけ。



### お得

#### ■リーズナブルな分析費用

分析項目メニューは、内容によって二種類あります。(QLA-A/QLA-B)



#### ■修理費用やメンテナンス費用の削減

QLA分析システムの導入で、トラブルを未然に防止。  
経費削減に繋がります。



# QLA分析結果データ管理ソフト

定期的に分析試験をおこなっているけれど、

■分析結果の管理が面倒だ… ■数字の履歴だけではわかりにくい…

これらを解決するために、グラフ化管理ソフトも用意しました。

## QLAの分析結果 (例:ディーゼルエンジンオイル)

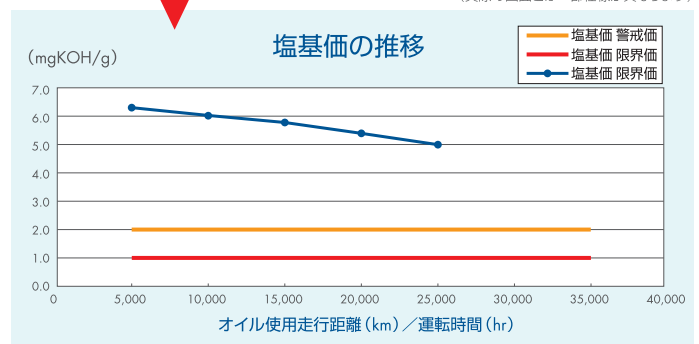
	新油値	1	2	3	4	5	
運転状況	分析サンプル番号						
	サンプリング日(年/月/日)		06/8/30	06/10/11	06/11/18	06/12/28	07/2/9
	サンプリング時走行距離(km)/運転時間(hr)		115,570	120,575	125,537	130,520	135,661
	今回のオイル走行距離(km)/運転時間(hr)		5,033	5,005	4,962	4,989	5,135
	オイル使用走行距離(km)/運転時間(hr)		5,033	10,038	15,000	19,989	25,121
分析結果	今回の新油補給量(L)						
	粘度@40℃(mm <sup>2</sup> /s)	107.20	101.30	99.56	98.15	98.62	96.17
	水分(%)	—	Trace	Trace	Trace	Trace	Trace
	引火点(℃)	230	MT190	MT190	MT190	MT190	MT190
	塩基価(塩酸法)(mgKOH/g)	7.00	6.30	6.00	5.80	5.180	5.100
	残留炭素分(%)		1.07	1.21	1.19	1.21	1.30
	金属Fe分(ppm)		2	6	9	9	12
	金属Cu分(ppm)		0	0	1	1	2
	金属Pb分(ppm)		0	0	0	2	1
金属Al分(ppm)		0	0	0	1	0	

(実際の画面とは一部仕様が異なります)

例えば「塩基価」のグラフもこの通り!

(実際の画面とは一部仕様が異なります)

■ グラフ化管理ソフト(別売り)を使えば、分析値を入力するだけで、この9項目の管理グラフが自動的に作成されます。もちろん、報告書・報告グラフの印刷もワンタッチでOK。



# QLAシステムの流れ

## 事前登録



会社名・機器名・油種名等、必要事項をご連絡ください。

## QLAサンプルキットの送付



## オイル採取



## 履歴の蓄積



時系列でのデータ管理により、過去の履歴が一目でわかります。(QLA-A)

## 結果報告



弊社横浜試験室にて受付完了後、直ちに試験を開始します。

## 受付・試験



## 郵送



弊社横浜試験室にて受付完了後、直ちに試験を開始します。

# QLA

## Quick Lubricants Analysis QLAで定期点検

- 陸運・建設機械・産業機械・自家発など、さまざまな機器・機械の保守管理にオイル管理は極めて重要です。
- 適切なオイル交換時期を設定・確立させるために、定期的なQLAシステムのご活用をお薦めします。
- 定期的に分析試験をおこなっている機器・機械には写真のようなシールを貼って、次回分析時期を明記しておきましょう。



■車両のオイル管理に



■産業用機械のオイル管理に

 分析対象と項目	船用油		リムラシリーズ		テラスシリーズ		オマラシリーズ
	船用/自家発		バス/トラック/建機/自家発		各種油圧装置・その他		工業用ギヤ
	デロマ/アーギナS4, S3, S2 リムラ/リムラFB ガデニヤS3/メリナS		リムラ R6 IM/リムラ R6 IMEJ リムラ R5 IE(CK-4) リムラ R3 L Extra リムラ R4 X/リムラ R3 X		テラス S4 ME/テラス S3 VE テラス S2 TX/テラス S2 M テラス S2 V モーリナ S2 B(32/46のみ)		オマラ S4 GX オマラ S2 G
	QLA-A	QLA-B	QLA-A	QLA-B	QLA-A	QLA-B	QLA-A
■ <b>粘度 @40℃</b> オイルの劣化や異油種の混入などをチェック。	○	○	○	○	○	○	○
■ <b>水分</b> オイルに混入した水分量をチェック。	○	○	○	○	○	○	○
■ <b>引火点</b> 燃料希釈・オイルの劣化の状態をチェック。	○	○	○	○			
■ <b>塩基価 (BN)</b> 添加剤のアルカリ度を測定、劣化状態をチェック。	○ (過塩素酸法)	○ (過塩素酸法)	○ (塩酸法)	○ (塩酸法)			
■ <b>酸価 (AN)</b> オイルの劣化度および他油種の混合をチェック。					○	○	○
■ <b>汚染度</b> 異物・異油種の混入や金属摩耗粉などをチェック。					○	○	
■ <b>残留炭素</b> 金属摩耗粉や燃焼から発生する「すす量」をチェック。			○	○			
■ <b>汚濁度指数 (IC)</b> 燃焼により生じた「すす量」をチェック。	○	○					
■ <b>残存分散性能 (MD)</b> 分散性を光学的な測定によりチェック。	○	○					
■ <b>デメリットポイント (DP)</b> ICとMDの相関性を示します。	○	○					
■ <b>金属分析</b> 機器・機械等の摩耗および異油種の混合状態をチェック。	○		○		○		○

シェル商標使用権者  
**シェル ルブリカンツ ジャパン株式会社**

〒135-8074 東京都港区台場2-3-2 (台場フロンティアビル)  
TEL.03-5531-5763~4 FAX.03-5531-5757  
<http://shell-lubes.co.jp>

ルブカスタマーサービスセンター ☎ **0120-064-315**

**迅速なデリバリー**

ご注文いただいた翌日にお届けします。  
AM10:00までにご注文いただくと、翌日配達可能。AM10:00以降は翌々日となります。(土、日、祝祭日、年末年始除く)